

相互交流協定締結の神川町特産「孔雀草（宿根アスター）」無料配布で華を添える ～第24回古利根川流灯まつり盛会のうちに閉幕～

8月5日（土）・6日（日）、古利根川河畔において、「第24回古利根川流灯まつり」が開催され、「地上に降りた天の川」と題した「古利根川流灯まつり」では、日本一の大きさを誇る大型灯籠（約250基）が約1キロにわたり光の帯となり、幻想的な空間を創り上げました。

そして6日には、当町と「相互交流協定」※を締結している「神川町」から清水雅之町長らが訪問し、名産品である「孔雀草（宿根アスター）」※花束約300本を来場者に無料配布し、イベントに華を添えました。

なお、流灯工房での「昔の杉戸写真展」開催や、杉戸町商工会青年部による「人力車」運行、「フィナーレ水上花火」などの各種イベントや、会場周辺や商店街での「七夕飾り」も行なわれ、約3万2千人の来場者で会場は賑わいました。

※「相互交流協定」とは…

杉戸町及び埼玉県児玉郡神川町は、平成14年から「杉戸町・神川町交流の森」森林整備協定を締結し、神川町にある「杉戸町・神川町交流の森」の整備などに取り組んできた。

一方、今後、両町相互の上下流交流により積極的に取り組んでいくため、平成29年3月21日（火）に「杉戸町・神川町相互交流協定書」を締結した。

この協定は、埼玉県（地域政策課）の「彩の市町村愛着連携事業」の一環で、県内の市町村相互の地域活性化を図るため、産業振興、人材育成、環境理解促進など上下流交流を拡充する内容となる。

※「孔雀草（宿根アスター）」とは…

神川町の名産品では「孔雀草（宿根アスター）」は菊科の植物で、結婚披露宴のテーブルに飾る花や花束などによく使われています。

神川町では昭和48年頃から栽培が始まりましたが、年々盛んになり、現在では全国随一の産地となりました。（今回配布する花の色は白色）

孔雀草



■「古利根川流灯まつり」開催概要

日時 8月5日(土)・6日(日) 土:17時~21時、日:18時~21時

《灯籠係留期間》

8月2日(水)~10日(木)9日間

※2日は灯籠係留作業、10日は灯籠撤去作業を予定。(天候により係留期間短縮の場合あり)。

会場 古利根川河畔(古川橋~清地橋)

※東武スカイツリーライン東武動物公園駅東口から徒歩2分

来場者数 約3万2千人(主催者調べ)

主催等 主催:杉戸町観光協会 主管:古利根川流灯まつり実行委員会 後援:杉戸町、宮代町

問合せ 杉戸町観光協会(杉戸町商工会内) ☎0480・32・3719

イベント内容(見所)

- 1、大型灯籠「250基」の川面への係留
- 2、町内の小学生が作成した小型灯籠「300基」の河川欄干への設置
- 3、「すぎと今昔物語」写真展(流灯工房にて)開催
- 4、神川町特産の「孔雀草(宿根アスター)の花束」の無料配布
- 5、杉戸町ふるさと大使(2名)によるPR活動
- 6、杉戸町商工会青年部による「人力車(1台)」の運行
- 7、会場周辺などでの「七夕飾り」
- 8、流灯まつりクライマックス!例年と趣向を変えた「フィナーレ水上花火」

■当日の様子(画像)



① 大型灯籠「250基」の川面への係留



② 町内小学生作成の小型灯籠「300基」の河川欄干への設置



③ 「すぎと今昔物語」写真展



④ 神川町特産の「孔雀草（宿根アスター）」の花束無料配布
古谷松雄杉戸町長（写真左）と清水雅之神川町長（写真右）



⑤ 来場者へ孔雀草を配布する清水神川町長



⑥ 来場者へ孔雀草を配布する古谷杉戸町長



⑦ 杉戸町ふるさと大使（2名）によるPR活動
増田美咲さん（写真左）と真木ソフィアさん（写真右）



⑧杉戸町商工会青年部による「人力車」の運行



⑨会場周辺などでの「七夕飾り」



⑩流灯まつりクライマックス! 「フィナーレ水上花火」で閉幕